

財団法人いわさきちひろ記念事業団

2011 年度事業報告書

2011（平成 23）年 4 月 1 日～2012（平成 24）年 3 月 31 日

【公益事業】

ちひろ美術館（東京・安曇野）は、子どものしあわせと平和を願ったいわさきちひろの思いを伝え、文化の民主的・多面的発展に寄与すべく、以下の活動を行った。

絵本文化の拠点、絵本研究の拠点として、また、絵本を通じて、0 歳から 100 歳を超える人までもが憩い楽しめる場として、個々の活動において一層の充実に努めた。

1. 美術館の設置運営

2011 年 3 月 11 日の東日本大震災後に迎えた 2011 年度は、

ちひろ美術館・東京で、57,754 人（前年度比 104%）

安曇野ちひろ美術館で、212,212 人（前年度比 134%）

両館合計 269,966 人（前年度比 126%）

の来館者を迎えた。

* 累計入館者数：ちひろ美術館・東京 2,499,212 人（1977 年～2012 年 3 月）

安曇野ちひろ美術館 3,170,829 人（1997 年～2012 年 3 月）

両館合計 5,670,041 人

特に、安曇野ちひろ美術館は、NHK 朝の連続ドラマ「おひさま」の影響もあり、予想を超える来館者を迎えた。

両館を通じて、2011 年度の来館者の特長は、震災後の社会的な流れを反映し、親子、家族、友人でゆっくりと過ごす姿が多く見られた。子どものしあわせと平和を願う当館のあり方もあり、来館者の多くからは、人と人との絆、関わりを深め、大切にしたいという意識が伺えた。

2. 展覧会・講演会の開催

別紙のとおり、展覧会・講演会を開催した。

3. 作品・資料の収集・保存、並びに、調査・研究

いわさきちひろをはじめ、出久根育、武田美穂等の画家たちの作品、計 230 点を新たに、収蔵品に加えた。また、いわさきちひろ、デビッド・マッキー等の作品 5 点の修復を行った。

* 収蔵作品の総点数：26,538 点（2012 年 3 月末現在）

別紙のとおり、調査・研究を行った他、特に、翌 2012 年に、東京館の開館 35 周年、安曇野ちひろ美術館の開館 15 周年を控え、2009 年から 3 年間に渡って行ってきた、生前のいわさきちひろを知る人たちへの取材・調査をまとめ、いわさきちひろの研究成果を、ドキュメンタリー映画としてまとめる作業を進めた。

また、「ドゥシャン・カーライ×出久根育」（安曇野館）、「瀬川康男遺作展」（東京館）、「茂田井武の世界旅行」、「中国の絵本画家 于大武展」（安曇野館）等の展覧会を通して、それぞれの絵本画家とその作品に関する研究を進めた。

4. 教育活動

別紙のとおり、教育活動を行った。

ちひろ美術館・東京では、館内で親と子が楽しめるワークショップ、近隣の学校と提携しての出前授業等、様々な絵本の教育活動、普及活動を行い、地元自治体、図書館、並びに、近隣の学校との提携を一層深めた。

安曇野ちひろ美術館では、出前授業、スクールミュージアム等のほか、本年で10年目を迎える地元松川中学校と提携した中学生ボランティア活動では、156人のボランティアを迎え、7000名を超える来館者に、水彩技法体験、絵本の読み聞かせの他、館内探検ツアーのガイドに新しく取り組んだ。

中学生ボランティア活動は、地域にねざした独創的な活動であることが評価され、松川中学校が、朝日新聞社主催の第13回朝日のびのび教育賞を受賞した。

5. 普及活動

別紙のとおり、普及活動を行った。

6. 国際交流

別紙のとおり、国際交流の活動を行った。

特筆すべき活動としては、国際交流基金と共催で、韓国の金海市、済州島でピエゾグラフ作品による「いわさきちひろ展」を開催、ベトナムでは、国際交流基金のベトナム日本文化交流センターで「ちひろとトットちゃん展」を開催し、交流を行った。

7. 支援活動

別紙のとおり、支援活動を行った。

安曇野館で、韓国から若手の絵本画家たち6名を迎え、研修を実施、創作への支援を行った他、地元松川村の子どもたち、地域の人たちとの交流を支援した。

8. その他

・スタッフのホスピタリティのさらなる向上を図るべく、両館で積極的に内部研修に取り組んだ。安曇野館ではインストラクターを招いての研修、また、接遇指導の資格を取得したスタッフを中心に自主研修を重ねた。

・当財団が未来に渡って、よりよい公益活動を継続的に進めていくことができるよう、2012年1月より、新たに支援会員制度を創設し、年度末までに162名の会員より、支援のこととともに、1,045,000円の寄付が寄せられた。

・2012年5月の申請をめざし、公益認定申請の準備を進めた。

・設置後15年を迎え、老朽化が進んだ安曇野館の展示室1の空調、屋根の改修工事を行った。

東日本大震災被災者支援の取り組み

・10月19日以降、被災証明を提示した来館者は、全員入館料無料とした。(2012年度も継続)

・震災以降、館内で被災地支援の義援金の呼びかけに取り組んだ。(2012年5月現在、東京162,189円、安曇野185,497円 合計347,686円)

・被災地の子どもたちへ絵本を送る支援活動を行い、5箇所の団体に計240冊の絵本を届けた。(2011年3月～2012年3月末)

【収益事業】

来館者の展覧会鑑賞がより豊かなものとなるよう、ミュージアム・ショップとカフェの運営を行った。

2011(平成23)年度事業報告<事業の体系>

公益事業 1. 絵本美術館の設置運営

ちひろ美術館・東京の運営

安曇野ちひろ美術館の運営

2. 絵本等に関する展覧会・講演会の開催

ちひろ美術館・東京での展覧会・講演会、ギャラリートーク等

いわさきちひろ展	—おめでとう30周年！—ちひろと黒柳徹子『窓ぎわのトットちゃん』展 ちひろが描いた世界の童話—アンデルセンを中心に— ちひろのあかちゃん ちひろの白 ちひろと香月泰男—母のまなざし、父のまなざし— 東京開館35周年/安曇野開館15周年記念 ピエゾグラフによる「わたしのちひろ」展
世界の絵本画家コレクション展	ちひろ美術館コレクション 国際アンデルセン賞受賞画家展
企画展	瀬川康男遺作展 —輝くいのち— 谷川俊太郎と絵本の仲間たち—堀内誠一・長新太・和田誠—
講演会	ちひろと黒柳徹子展関連イベント 大友剛が奏でる『窓ぎわのトットちゃん』 「ちひろが描いた世界の童話」展関連イベント 希少本公開！ちひろのアンデルセン 「瀬川康男遺作展」関連イベント 講演会 辻村益朗「瀬川康男を語る」 「ちひろのあかちゃん」展関連イベント パパ's絵本ライブ 谷川展関連イベント 対談 谷川俊太郎x和田誠 谷川展関連イベント 対談 谷川俊太郎x内田也哉子 谷川展関連イベント 対談 谷川俊太郎x谷川賢作「ことばと音楽であそぼう！ 谷川親子による子どもワークショップ」
ギャラリートーク	松本猛によるギャラリートーク 展示担当者、普及担当者によるギャラリートーク

安曇野ちひろ美術館での展覧会・講演会、ギャラリートーク等

いわさきちひろ展	ちひろの少女 —記憶と心象— ちひろと黒柳徹子 『窓ぎわのトットちゃん』ピエゾグラフ展 ちひろの旅物語 ちひろ・夏の画集 <香月泰男生誕100周年記念> ちひろと香月 —母のまなざし、父のまなざし— ちひろの四季 ピエゾグラフ作品展 いわさき ちひろ 27歳の旅立ち 東京開館35周年/安曇野開館15周年記念 ピエゾグラフによる「わたしのちひろ」展
世界の絵本画家コレクション展	世界の絵本画家展 乗り物で楽しむ世界の絵本 ようこそ！絵本水族館 世界の絵本画家展 —物語る絵— 世界の絵本画家展
企画展	東欧と日本を結ぶ 色と線の幻想世界 ドゥシャン・カーライ×出久根育 「子どものための工芸」展 茂田井武の世界旅行 —三国志はおもしろい！— 中国の絵本画家 于 大武展 瀬川康男遺作展 —輝くいのち—
講演会	スライドトーク「ちひろの旅物語」 朗読会「女優・渡辺美佐子による平和の朗読会」 茂田井武の幻灯会とミニトーク 原語で楽しむおはなしの会「中国の絵本」
ギャラリートーク	展示担当者、普及担当者によるギャラリートーク

他館と提携する展覧会・講演会

いわさきちひろ展	いわさきちひろ展 未来につなぐやさしさのために(愛知県・松坂屋美術館) わたしが選んだいわさきちひろ展～子どものしあわせを願って～(新潟県・新潟県立近代美術館)
コレクション展	ちひろ美術館コレクション 世界の絵本をめぐる旅(島根県・島根県立石見美術館)
講演会	いわさきちひろ展 未来につなぐやさしさのために 「母・いわさきちひろ」(講師:松本猛) わたしが選んだいわさきちひろ展～子どものしあわせを願って～ 「ちひろと私と」(講師:松本猛) ちひろ美術館コレクション 世界の絵本をめぐる旅 「日本の絵本の歩み—絵因果経から『わたしのワンピース』まで」(講師:竹迫祐子)
ギャラリートーク	いわさきちひろ展 未来につなぐやさしさのために のためのギャラリートーク わたしが選んだいわさきちひろ展～子どものしあわせを願って～ のためのギャラリートーク ちひろ美術館コレクション 世界の絵本をめぐる旅 のためのギャラリートーク

3. 絵本等に関する作品・資料の収集・保存、並びに、調査・研究

作品・資料収集

絵本原画、関連資料等の収集
絵本と絵本の歴史資料の収集
絵本、関連書籍等の収集

作品保存

作品の保存管理

		作品のデジタル・アーカイブ
		作品修復
	調査・研究	コレクション作家の調査・研究
		絵本とイラストレーションの歴史の調査・研究
		絵本等に関する調査・研究
		研究成果の公開 作品、展示解説を掲載した図録の発行と主要な絵本関連団体、類縁機関、図書館への寄贈
		研究成果の公開 作品、展示解説掲載
		研究成果の公開 ドキュメンタリー映画「いわさきちひろ 27歳の旅立ち」
		研究成果、活動成果の公開 「美術館だより」の発行(年4回)
4. 絵本等に関する教育活動	ワークショップ・講座の開催	紺野美沙子の朗読座 共同イベント 紺野美沙子によるおはなしの会
		「国際博物館の日」記念行事 たてもの探検ツアー
		水彩技法体験ワークショップ
		海南友子講演会「ドキュメンタリー映画監督が見たフクシマ」
		野呂美加お話し会
		出前水彩技法体験
		出前講座
	学校との提携活動	出前授業
		課外授業の場としての受け入れ
		職場体験実習・職場訪問の受け入れ
		教員向け内見会
		教員20年目研修受け入れ
		学芸員実習受け入れ
		松川中学校・中学生ボランティアによるサマープログラム
		松川村・武蔵野美術大学との提携活動—造形ワークショップ「安曇野まつかわサマースクール」
		安曇野市・北安曇教育課程研究協議会での水彩実技講習会
		スクールミュージアム
		インターン生、学芸員・博物館実習の受け入れ
5. 絵本等に関する普及活動	絵本の公開・閲覧	絵本図書室による絵本の公開・閲覧
	絵本の紹介活動	コレクション作家・企画展作家・その他の世界の絵本作家の絵本等の紹介、頒布、レファレンス、読書指導
	読み聞かせ会	おはなしの会(絵本の読み聞かせ)、絵本の広場の開催 夕暮れミュージアム(夜間開館)での「夏の夜のおはなしの会」
	地域団体との提携・複製画展	いわさきちひろの複製画の展示
	病院との提携活動	季節ごとの病院内展示(東京女子医大病院、聖路加病院、長野県立こども病院)
6. 絵本等に関する国際交流	海外における展覧会・講演会・ワークショップ	ビエソグラフによるいわさきちひろ展(韓国・キム芸術スポーツセンター) ビエソグラフによるいわさきちひろ展(韓国・済州現代美術館) ちひろとトットちゃん展(ベトナム・ベトナム日本文化交流センター)
	海外の関係機関とのネットワーク	国立台湾図書館における絵本展視察と交流 ベトナム戦争証跡博物館、南部女性博物館、女性博物館との交流 イギリス・セブンストーリーズの視察と交流
7. 絵本等に関する支援活動	絵本専門家への支援活動	絵本の研究者、絵本作家等への研究・創作支援 絵本美術館に関する研究者、専門家等への研究支援
	展覧会鑑賞者・絵本受容者への支援活動	鑑賞者のより深い作品・作家理解のための解説、ガイドブックの作成、並びに画集・複製画の紹介、頒布
	地域の子育て支援団体との提携活動	地域の図書館等の社会教育施設、地元保健センター等の社会福祉施設と提携した絵本の紹介活動と読み聞かせ指導等
8. その他、前条の目的を達成するための活動		
収益事業	ショップ・カフェの運営	ショップ・カフェの運営

* 2011(平成23)年度事業報告書

事業	個別事業名	実施内容	参加者数 (入館者数)	実施時期	実施場所	
2.絵本等に関する展覧会・講演会の開催	ちひろ美術館・東京での展覧会・講演会、ギャラリートーク等【ちひろ展】	—おめでとう30周年！—ちひろと黒柳徹子『窓ぎわのトットちゃん』展	黒柳徹子が子ども時代をつづった『窓ぎわのトットちゃん』は、戦後最大のベストセラーである。ちひろの絵とともに世界30カ国以上で愛されているトットちゃんの魅力を紹介した。	13,980名	3月1日～5月29日(3/13～臨時休館開館時間短縮。会期延長)	ちひろ美術館・東京
		ちひろが描いた世界の童話—アンデルセンを中心に—	ちひろは「おやゆびひめ」などのアンデルセン童話をはじめ、日本でもなじみ深い世界の童話を数多く描いている。紙芝居や童話集、絵本などに描かれた世界の童話の絵を展示し、ちひろのファンタジーの表現や画風の変遷を紹介した。	9,276名	6月1日～7月31日(会期短縮)	ちひろ美術館・東京
		ちひろのあかちゃん	水彩のにじみを駆使して、あかちゃんのやわらかな髪や肌の感触までも表現したちひろ。代表作や絵本『おふろでちゃぶちゃぶ』の原画、育児書のカット、幼いころの息子のスケッチなど、母親としての愛情をこめて描かれたあかちゃんの絵の数々を展示した。	15,513名	8月3日～10月23日	ちひろ美術館・東京
		ちひろの白	ちひろの絵に必ずといってよいほど使われている色—それは、白。ちひろの白は、さまざまな色彩をひとつにまとめ、輝かせる、要の色である。本展では、ちひろの白の表現の巧みさ、美しさに焦点をあてた。	18,139名	10月26日～2012年1月29日	ちひろ美術館・東京
		ちひろと香月泰男—母のまなざし、父のまなざし—	山口県で人間愛と平和をテーマに創作を続けた画家・香月泰男。子どもを終生のテーマに描き続けたちひろ。それぞれの戦争体験を経て、命を見つめ、身近なものを大切に二人の世界を紹介した。	11,809名	2012年3月1日～5月20日	ちひろ美術館・東京
		東京開館35周年/安曇野開館15周年記念 ピエゾグラフィによる「わたしのちひろ」展	一般の方々からのリクエストによって展示作品が決まる、参加型の展覧会。リクエストの多かった作品や、深い思いのこもったメッセージが寄せられた作品を、メッセージとともに紹介した。	〃	2012年3月1日～5月20日	ちひろ美術館・東京
	【世界の絵本画家コレクション展】	ちひろ美術館コレクション 国際アンデルセン賞受賞画家展	ちひろ美術館コレクションのなかから、小さなノーベル賞ともいわれる子どもの本の国際賞を受賞した画家たち—センダック、マーヴリナ、赤羽末吉、カーライ、パツオウスカー、エンツィカート、インノチェンティ等—の作品を紹介した。	13,980名	3月1日～5月29日	ちひろ美術館・東京
	【企画展】	瀬川康男遺作展 —輝くいのち—	タブローと絵本の領域を超え、美しいものを熱心に探求し続けた瀬川康男。本展では、第1回BIBグランプリ受賞作『ふしぎなたけのこ』や、『ふたり』『ぼうし』などの代表的な絵本のほか、タブロー、資料なども展示し、2010年惜しまれつつ77歳で亡くなった瀬川の画業を紹介した。	15,513名	8月3日～10月23日	ちひろ美術館・東京
		谷川俊太郎と絵本の仲間たち—堀内誠一・長新太・和田誠—	詩人・谷川俊太郎は、長年にわたり、絵本や子どもの本の仕事に積極的に取り組んできた。本展では、谷川自身、「特別な存在」と語る堀内誠一、長新太、和田誠との仕事を取り上げ、詩人の生み出した多彩な絵本の世界を、谷川自身の詩やコメントも交えて紹介した。	18,139名	10月26日～2012年1月29日	ちひろ美術館・東京
	【講演会】	ちひろと黒柳徹子展関連イベント 大友剛が奏でる『窓ぎわのトットちゃん』	ピアノ奏者の大友剛が、ピアノかピアノを使って『窓ぎわのトットちゃん』の世界を奏でた。	54名	5月7日	ちひろ美術館・東京
		「ちひろが描いた世界の童話」展関連イベント 希少本公開！ちひろのアンデルセン	ちひろが描いたアンデルセン童話や絵本のなかから、現在出版されておらず、見る機会の少ない本を公開した。	12名	6月11日	ちひろ美術館・東京
		「瀬川康男遺作展」関連イベント 講演会 辻村益朗「瀬川康男を語る」	高校時代からの友人であり、ともに本づくりもした装丁家・辻村益朗が、瀬川康男の人と仕事について語った。	53名	9月10日	ちひろ美術館・東京
		「ちひろのあかちゃん」展関連イベント パパ's絵本ライブ	お父さん4人組みの読み聞かせユニット、「パパ's絵本プロジェクト」が、読み聞かせ、ライブのほか、お父さんならではの視点で絵本の楽しみ方を紹介した。	54名	9月3日(午前の部、午後の部)	ちひろ美術館・東京
		谷川展関連イベント 対談 谷川俊太郎x和田誠	名コンビとして知られるふたりが、絵本や創作について語り合った。	86名	11月12日	ちひろ美術館・東京
		谷川展関連イベント 対談 谷川俊太郎x内田也哉子	3児の母として、文筆家・翻訳家として、日々絵本に接している内田也哉子が谷川俊太郎と絵本の魅力について語り合った。	80名	11月26日	ちひろ美術館・東京
		谷川展関連イベント 対談 谷川俊太郎x谷川賢作「ことばと音楽であそぼう！ 谷川親子による子どもワークショップ」	谷川俊太郎が、息子で音楽家の谷川賢作と一緒に、ことばと音楽で遊ぶ、子どものためのワークショップを行なった。	40名	1月8日	ちひろ美術館・東京
	【ギャラリートーク】	松本猛によるギャラリートーク	いわさきちひろの息子である松本猛が、母の思い出や作品にまつわるエピソード、展示の見どころを語った。	55名	6月5日、8月21日、11月6日	ちひろ美術館・東京
		展示担当者、普及担当者によるギャラリートーク	開催中の展示の見どころなどを、作品を見ながら展示担当者や普及担当者が解説した。		毎月第2、4土曜日	ちひろ美術館・東京
	安曇野ちひろ美術館での展覧会・講演会、ギャラリートーク等【ちひろ展】	ちひろの少女 —記憶と心象—	ちひろの描く少女はみな、清澄な儂さと凛とした強さをあわせ持っている。本展では、時を経て描かれた自画像ともいえる少女の他、絵本『あかちゃんのくるひ』『たけくらべ』など、ちひろが情豊かに描き出した少女像の数々を紹介した。	26,451名	3月1日～5月10日	安曇野ちひろ美術館
		ちひろと黒柳徹子 『窓ぎわのトットちゃん』ピエゾグラフィ展	『窓ぎわのトットちゃん』の出版30周年を記念し、「若い女性」に掲載された作品など、約70点のなかから19点を選び、それぞれの話とともに展示。共に「子どものしあわせと平和」を願う、黒柳徹子といわさきちひろの二人の魅力が響きあう、『窓ぎわのトットちゃん』の世界を紹介した。	〃	3月1日～5月10日	安曇野ちひろ美術館
		ちひろの旅物語	旅が好きだったちひろは、折に触れ、家族や友人とともに旅行を楽しんだ。旅は心休まる時であると同時に、制作への意欲を育む時でもあった。本展では、旅先で出会った風土や暮らしが活かされた絵本作品を、旅情漂うスケッチとともに紹介した。	36,034名	5月13日～7月12日	安曇野ちひろ美術館
		ちひろ・夏の画集	ちひろは、夏の子どものたちの生命の輝きを、空や太陽、海などの自然がみせる一瞬の表情の美しさとともに、みずみずしく表現した。本展では、夏の季節感あふれる作品や、絵本『ぼちのきたうみ』などを紹介した。	79,664名	7月15日～9月13日	安曇野ちひろ美術館
		<香月泰男生誕100周年記念> ちひろと香月 —母のまなざし、父のまなざし—	戦後、山口県の三隅町にて人間愛と平和をテーマに創作を続けた画家香月泰男。子どもたちを終生のテーマに描き続けた絵本画家いわさきちひろ。二人に共通する家族への想い、小さきものへの慈しみ、平和への願いをテーマに作品を展示した。	69,420名	9月16日～11月30日	安曇野ちひろ美術館
ちひろの四季 ピエゾグラフィ作品展		2010年秋に刊行された『ちひろ・秋の画集』に続き、冬、春、夏の画集が出版され、ちひろの四季の画集が揃った。本展では、これらの画集に収録された作品を中心に、季節感あふれるちひろの代表作を紹介した。	〃	9月16日～11月30日	安曇野ちひろ美術館	
いわさき ちひろ 27歳の旅立ち		いわさきちひろの研究・記録映像をもとにした、ちひろのドキュメンタリー映画で紹介される作品などを、ちひろの言葉とともに展示。様々な苦難を経て、再び絵筆をとった若き日から晩年までのちひろの人生と画業の全貌を紹介した。	28,041名	2012年3月1日～5月8日	安曇野ちひろ美術館	
東京開館35周年/安曇野開館15周年記念 ピエゾグラフィによる「わたしのちひろ」展		一般の方々からのリクエストによって展示作品が決まる、参加型の展覧会。リクエストの多かった作品や、深い思いのこもったメッセージが寄せられた作品を、メッセージとともに紹介した。	〃	2012年3月1日～5月8日	安曇野ちひろ美術館	
【世界の絵本画家コレクション展】		ちひろ美術館コレクション 世界の絵本画家展	ちひろ美術館コレクションのなかから、「花」をテーマに作品を展示。世界の絵本画家たちが、絵本のなかに想像豊かに咲かせた、色とりどりの花を紹介した。	26,451名	3月1日～5月10日	安曇野ちひろ美術館
		ちひろ美術館コレクション 乗り物で楽しむ世界の絵本	ちひろ美術館コレクションのなかから、「乗り物」をテーマに、世界の絵本画家たちが描いた作品を展示。よく見慣れた乗り物から、不思議な乗り物まで、絵本の中の旅を様々な乗り物で紹介した。	36,034名	5月13日～7月12日	安曇野ちひろ美術館
	ちひろ美術館コレクション ようこそ！絵本水族館	色鮮やかな魚から、人魚や河童などの想像上の生き物まで、絵本に描かれている水の生き物は多種多様である。本展では、ちひろ美術館コレクションより、世界各国の絵本画家たちが描いた個性豊かな水の生き物の数々を紹介した。	79,664名	7月15日～9月13日	安曇野ちひろ美術館	
	ちひろ美術館コレクション 世界の絵本画家展 —物語る絵—	ちひろ美術館コレクションより、アンデルセンなどのよく知られた童話から、各国の民話や伝記をもとにした絵本まで、物語の世界を描いた作品を中心に、ヨーロッパ、ロシア、アメリカの画家による31点を紹介した。	69,420名	9月16日～11月30日	安曇野ちひろ美術館	

事業	個別事業名	実施内容	参加者数 (入館者数)	実施時期	実施場所		
事業	ちひろ美術館コレクション 世界の絵本画家展	ちひろ美術館コレクションより、多くの人に読み継がれ、愛され続ける絵本の原画作品を中心に紹介した。	28,041名	2012年3月1日～5月8日	安曇野ちひろ美術館		
	【企画展】東欧と日本を結ぶ 色と線の幻想世界 ドウシャン・カーライ × 出久根育	スロヴァキアを代表する絵本画家の一人であり、アンデルセン賞画家賞受賞画家でもあるドウシャン・カーライと、そのカーライに学び、2003年プラティスラヴァ世界絵本原画展でグランプリを受賞した出久根育。本展では、二人の画家の作品をあわせて展示し、それぞれの個性と魅力を紹介した。	26,451名	3月1日～5月10日	安曇野ちひろ美術館		
	「子どものための工芸」展	子どもに本物の良さを伝えていきたい——金工、木工、布、ガラス、漆器、陶器、アクセサリ、再生紙など、現在活躍中の工芸作家が子どものためにつくった作品を展示した。	36,034名	5月13日～7月12日	安曇野ちひろ美術館		
	茂田井武の世界旅行	若き日に欧州を放浪し、友人からボヘミアンと呼ばれた童画家・茂田井武。パリの市井の人々を描いた画帳『Parisの破片』や『古い旅の絵本』など、数々の旅の印象から生み出された詩情あふれる作品を紹介した。	36,034名	5月13日～7月12日	安曇野ちひろ美術館		
	—三国志はおもしろい！— 中国の絵本画家 于大武展	日本でも絶大な人気を誇る、魏呉蜀の3国が争覇した時代の歴史書「三国志」。本展では、中国画の伝統的な技法で古典文学の世界を描く絵本画家 于大武が、三国志のなかのエピソードを描いた絵本三部作の原画を一挙公開した。	69,420名	9月16日～11月30日	安曇野ちひろ美術館		
	瀬川康男遺作展 —輝きのち—	1960年に最初の絵本を発表して以来、早くから国際的に注目され、話題作を数多く発表した瀬川康男。1980年代に信州の山に移り住んでからは、自然のなかの「いのち」に向き合いながら制作を続けた。本展では、代表的な絵本の原画やタブローなどを展示し、その画業と人間像を紹介した。	28,041名	2012年3月1日～5月8日	安曇野ちひろ美術館		
	【講演会】	スライドトーク「ちひろの旅物語」	「ちひろの旅物語」展のスライドトークを行なった。	30名	6月5日	安曇野ちひろ美術館	
	朗読会「女優・渡辺美佐子による平和の朗読会」	女優・渡辺美佐子氏による平和をテーマとした朗読会を行った。	110名	8月28日	安曇野ちひろ美術館		
	茂田井武の幻灯会とミニトーク	茂田井武の次女・後藤暦氏が父・茂田井武の思い出や旅について語るミニトークと幻灯会を行った。	45名	6月4日	安曇野ちひろ美術館		
	原語で楽しむおはなしの会「中国の絵本」	「三国志はおもしろい！中国の絵本画家 于大武展」にあわせて、于大武の『十万本の矢』『空上の計』の中国語による絵本の読みかきかせをおこなった。		10月1日	安曇野ちひろ美術館		
	【ギャラリートーク】	展示担当者、普及担当者によるギャラリートーク	開催中の展示の見どころなどを、作品を見ながら展示担当者や普及担当者が解説した。		毎月第2、4土曜日	安曇野ちひろ美術館	
	他館と提携する	いわさきちひろ展 未来につながるやさしさのために	「子ども」をテーマに描き続けた画家・ちひろ。四季折々の子どもたちの姿や、今は懐かしい昭和の情景、絵本の原画などを展示するほか、ちひろが子育てをしていたころの家のようすを再現し、ひとりの母親としてのちひろの姿も紹介した。	33,790名	4月27日～5月17日	松坂屋美術館(愛知県)	
	展覧会・講演会	ちひろ美術館コレクション 世界の絵本をめぐる旅	当館のコレクションから、世界と日本の絵本画家の作品を展示した。	10,931名	4月16日～5月23日	島根県立石見美術館(島根県)	
		わたしが選んだいわさきちひろ展～子どものしあわせを願って～	四季折々の子どもたちの姿や、スケッチ、絵本の原画などを展示すると同時に、愛らしい子供たちの絵の根底にあるちひろ自身の子育てや暮らし、生きた時代も紹介した。また地元の人にリクエストをつのり、寄せられたメッセージを絵とあわせて展示した。	34,209名	7月23日～8月28日	新潟県立近代美術館(新潟県)	
	【講演会】	「日本の絵本の歩み—絵因果経から『わたしのワンピース』まで」(講師:竹迫祐子)	「ちひろ美術館コレクション 世界の絵本をめぐる旅」日本の絵本の歴史を、安曇野ちひろ美術館副館長竹迫祐子が語った。		4月16日	島根県立石見美術館(島根県)	
		母・いわさきちひろ(講師:松本猛)	「いわさきちひろ展 未来につながるやさしさのために」ちひろの息子・松本猛氏が、母の思い出や作品の魅力を語った。		5月11日	松坂屋美術館(愛知県)	
		ちひろと私と(講師:松本猛)	「わたしが選んだいわさきちひろ展～子どものしあわせを願って～」ちひろの息子・松本猛氏が、母の思い出や作品の魅力を語った。		7月23日	新潟県立近代美術館(新潟県)	
	3.絵本等に関する作品・資料の収集・保存、並びに調査・研究	作品・資料収集	絵本原画、関連資料等の収集	時代のエポックとなり、未来に継承すべき優れた芸術性を持つ絵本原画の収集を進めた。(新収蔵作品…ちひろ1点、世界の絵本画家229点、合計230点)		通年	両館
			絵本と絵本の歴史資料の収集	時代のエポックとなり、未来に継承すべき優れた芸術性を持つ絵本の資料・絵本の歴史資料の収集のための調査を進めた。		通年	両館
			絵本、関連書籍等の収集	優れた芸術性を持ち、魅力的な絵本の収集を進めた。(新規受入図書1570冊)		通年	両館
作品保存		作品の保存管理	絵本原画を中心とした収蔵作品の適切な保存管理を行なうとともに、画像データベース等での作品管理を進めた。		通年	両館	
		作品のデジタル・アーカイブス	支持体、画材とも脆弱な水彩画である、いわさきちひろ作品のデジタル・アーカイブスを進めた。(ピエゾグラフ33点)		通年	両館	
		作品修復	修復が必要な作品の修復を行なった。(修復作品 ちひろ作品2点、コレクション作品3点)		通年	両館	
調査・研究		コレクション作家の調査・研究	展示等にあわせて、いわさきちひろ、瀬川康男、ドウシャン・カーライ、出久根育、茂田井武、于大武等のコレクション作品の表現・技法、作家の人生、芸術観、時代背景等について、調査・研究を進めた。		通年	両館	
		絵本とイラストレーションの歴史の調査・研究	展示等にあわせて、絵本とイラストレーションの歴史に関する調査・研究を進めた。		通年	両館	
		絵本等に関する調査・研究	新旧の絵本の表現、テーマ、絵本の造形について調査・研究を進め、魅力的な絵本の要素を研究した。		通年	両館	
		研究成果の公開 作品、展示解説を掲載した図録の発行と主要な絵本関連団体、類縁機関、図書館への寄贈	調査、研究の成果を展覧会等に活かすとともに、作品解説、展示解説等にまとめ、逐次、図録としてまとめ、逐次、HPにアップした。制作した図録等は、絵本関連団体、類縁機関、国際子ども図書館等の主要な図書館へ寄贈した。(図録「いわさきちひろ展 未来へつなぐ やさしさのために」2011年4月27日発行)		通年	両館	
		研究成果の公開 作品、展示解説掲載	調査、研究の成果を展覧会等に活かすとともに、作品解説、展示解説等にまとめ、逐次、HPにアップした。		通年	両館	
		研究成果の公開 ドキュメンタリー映画「いわさきちひろ 27歳の旅立ち」	過去3年に渡って行なってきたいわさきちひろ縁の人々への取材記録をもとに、長年のちひろ研究の現時点での集大成としていわさきちひろの芸術、芸術観をその人生とともにまとめたドキュメンタリー映画の製作を進めた。		通年	両館	
		研究成果、活動成果の公開 「美術館だより」の発行(年4回)	研究や活動の成果を、展示紹介、活動紹介等にまとめ、年4回発行する「美術館だより」やHPを通じて、公開した。		通年	両館	
4.絵本等に関する教育活動	ワークショップ・講座の開催	紺野美沙子の朗読座 共同イベント 紺野美沙子によるおはなしの会	女優の紺野美沙子による読み聞かせと子どもの本に関するトークイベントを開催した。	61名	5月28日	ちひろ美術館・東京	
	開催	「国際博物館の日」今年度のテーマ「博物館・美術館と記憶」にちなんだイベントとして「たてもの探検ツアー」を企画。普段は非公開の空間も含む、展示室以外の空間を、解説付で案内した。	37名	5月18日	ちひろ美術館・東京		
	水彩技法体験ワークショップ	ちひろの絵の特徴でもある水彩絵具の「にじみ」技法を体験しながら、マグネットなどを制作するワークショップを行った。	463名	8月6日、8月7日、2012年1月2日、3日	ちひろ美術館・東京		

事業	個別事業名	実施内容	参加者数 (入館者数)	実施時期	実施場所	
	海南友子講演会「ドキュメンタリー映画監督が見たフクシマ」	子どもたちのしあわせと平和を考える活動の一環として、ドキュメンタリー映画監督の海南友子による、事故後の福島原発と周辺の住民を密着取材した初の報告会、並びに被災者を含む参加者とともに、よりよい未来を子どもたちへ残すための意見交換も行った。	75名	8月27日	ちひろ美術館・東京	
	野呂美加お話し会	子どもたちのしあわせと平和を考える活動の一環として、東日本大震災と福島原発の事故と子どもたちの未来をテーマに、野呂美加の講演会を開催した。	59名	10月2日	ちひろ美術館・東京	
	出前水彩技法体験	近隣地域の高齢者センター等にて、ちひろの水彩技法を体験し、しおりやカードをつくるワークショップを行なった。	計238名	8月30日、9月29日、10月14日、29日、30日、3月20日	中野区立弥生高齢者/練馬区立豊玉/目黒区高齢者センター/港区麻布地区総合支所	
	出前講座	「未来を豊かに描く・ママフィールド」と題して、乳幼児を持つ母親を対象に、ちひろの人生、特に子育てにフォーカスしたスライドトークを行った。	14名	10月26日	西東京市谷戸公民館	
	出前講座	アルプスあづみの国営公園にて、ちひろの水彩技法を体験しながら、にじみのランタンを作るワークショップを行なった。		12月23日	国営アルプスあづみの公園	
	学校との提携活動 【東京館】	出前授業	近隣の小中学校にて、いわさきちひろや水彩技法についての出前授業を行なった。	計6校	通年	練馬区立大泉東小学校他
		課外授業の場としての受け入れ	授業や学外行事の場所として来館した小中学生に、水彩技法体験、ギャラリートーク、絵本の読み聞かせなどを行なった。	計4校	通年	ちひろ美術館・東京
		職場体験実習・職場訪問の受け入れ	近隣の中学生の職場体験、職場訪問の受け入れを行なった。(練馬区立石神井中学校、石神井中学校、石神井南中学校、杉並区立井草中学校 他)	計9校、22名	通年	ちひろ美術館・東京
		教員向け内見会	近隣の小中学校教員を対象に、開催中の展覧会のギャラリートーク後、美術館が行う教育普及活動を紹介し、意見交換を行った。	計21校と6施設 54名	6月13日、11月7日	ちひろ美術館・東京
		教員20年目研修受け入れ	さいたま市立埼玉小学校教員の20年目研修の受け入れを行なった。	1名	8月5日～7日・10日の延べ4日間	ちひろ美術館・東京
		学芸員実習受け入れ	学芸員実習生の受け入れを行なった。(大東文化大学、青山学院大学、国立音楽大学)	3名	10月21日～26日	ちひろ美術館・東京
	【安曇野館】	松川中学校・中学生ボランティアによるサマープログラム	中学生がボランティアでサポート役となりワークショップを運営、水彩技法体験のインストラクターや美術館探検ツアーのガイド、図書委員による絵本の読み聞かせをした。中学生ボランティアの登録人数は156名、ワークショップ参加者は、述べ7,000名以上となった。	参加者数 7,000人	7月23日～8月17日	安曇野ちひろ美術館
		松川村・武蔵野美術大学との提携活動—造形ワークショップ「安曇野まつかわサマースクール」	武蔵野美術大学芸術文化学科、松川村、ちひろ美術館の3者が実行委員会となって、松川村の豊かな自然と人々とのふれあいの魅力を楽しむワークショップを企画し、運営した。	40名	7月30日・7月31日	安曇野ちひろ美術館
		安曇野市・北安曇教育課程研究協議会での水彩実技講習会	安曇野市と北安曇郡内の中学校美術科教諭の研究会において、見学会と水彩の滲み技法についての講習会を行なった。	28名	9月9日	安曇野ちひろ美術館
		スクールミュージアム	長野県内の学校へいわさきちひろの複製画を貸し出し、先生と生徒が共同で展示をするスクールミュージアムを木曾町立福島中学校、日義中学校、木祖村立木祖小学校にて開催した。		通年	木曾福島中学校/日義中学校/木祖小学校
		出前授業	県内の小中学校にて、いわさきちひろと水彩技法についての出前授業を行なった。		11月21日	木曾福島中学校
		課外授業の場としての受け入れ	授業や学外行事の場所として来館した小中学生、高校生、養護学校生、幼稚園、保育園生に、美術館探検ツアー、水彩ワークショップ、作品の解説、絵本の読み聞かせなどを行なった。(松本養護学校、長野工業高校、八坂小学校等)		随時	安曇野ちひろ美術館
		職場体験実習の受け入れ	近隣の中学生の職場体験の場としての受け入れを行なった。(計2校)	4名	通年	安曇野ちひろ美術館
		インターン生、学芸員・博物館実習の受け入れ	武蔵野美術大学の学生のインターン生(3週間)と、学芸員・博物館実習生(東京工芸大学、信州大学、昭和音楽大学)の受け入れを行なった。	5名	7月～9月	安曇野ちひろ美術館
		5.絵本等に関する普及活動	絵本の公開・閲覧	絵本図書室による絵本の公開・閲覧		
絵本の紹介活動	コレクション作家・企画展作家・その他の世界の絵本作家の絵本等の紹介、頒布、レファレンス、読書指導				両館	
読み聞かせ会	おはなしの会(絵本の読み聞かせ)、絵本の広場の開催		絵本の理解を深め、展示鑑賞をより充実したものとするため、両館それぞれ定期的に絵本の読み聞かせ会を開催する。また同様に、学校・保育園等からの団体鑑賞に際して、読み聞かせを行った。(東京館24回、安曇野館37回)			両館
	夕暮れミュージアム(夜間開館)での「夏の夜のおはなしの会」		安曇野アートライン「夜のミュージアム」、松川村「すずむしの里松川村クリスタルシンフォニー」と連動して、夕暮れミュージアムを開催。21時までの夜間開館を行なった。「夏の夜のおはなしの会」を開催する他、安曇野ちひろ公園では、「安曇野まほらランタン」のイルミネーションをおこなった。			
地域・各団体での複製画展	いわさきちひろの複製画の展示		より多くの人々にちひろの作品を普及するため、原画の展示が難しい会場でも展示が可能な、複製画による展覧会を、全国各地で行なった。(明石市立勤労福祉会館、吹田市文化会館、中札内村文化創造センター、長岡市ちびっこ広場、大垣市サイトピアセンター、金沢伏見高校、鳥取町立みささ図書館、浜松市立二俣公民館、蕨市中央公民館、塩尻市役所計10会場)			明石市立勤労福祉会館 他
病院との提携活動	季節ごとの病院院内展示(東京女子医大病院、聖路加病院、長野県立こども病院)		来館が難しい病院患者やその家族を対象に、病院内での複製画展を行うとともに、絵本に親しむ機会を設け、各病院からの求めに応じて、院内での読み聞かせ会等を実施した。(東京女子医大3回延べ33点、聖路加病院2回延べ6点、長野県立こども病院3回延べ66点)		通年	両館
6.絵本等に関する国際交流	海外における展覧会、講演会、ワークショップ		ビエゾグラフィによるいわさきちひろ展	図書館政策と読書運動の活発な、韓国の金海(キム)市の「芸術の殿堂」で、いわさきちひろのビエゾグラフィ作品約90点と、日本の絵本の歴史資料(一部複製)約30点を展示し、ちひろの絵本と日本の絵本の歴史について展示・普及した。	17,644名	5月1日～6月12日
		ビエゾグラフィによるいわさきちひろ展	「平和の象徴」ともいわれる韓国の済州島で、いわさきちひろのビエゾグラフィ作品約90点を展示し、その普及をした。	6,355名	6月18日～7月26日	韓国・済州現代美術館
		ちひろとトットちゃん展	『窓ぎわのトットちゃん』刊行30周年、同書のベトナム語版の出版を記念して、同書に掲載されたいわさきちひろの絵(複製)約30点と最初の連載で使われた絵を、本からの抜粋や、トモエ学園の写真資料(複製)とともに展示し、ギャラリートークを行った。	1,672名	8月9日～8月31日	ベトナム・ベトナム日本文化交流センター
	海外の関係機関との	国立台湾図書館における絵本展視察と交流	過去にちひろ展も開催された、国立台湾図書館で、台湾の絵本画家曹俊彦の展示の開幕式に参加し、絵本関係者と交流した。		8月6日	台湾・国立台湾図書館
	ネットワーク	ベトナム戦争証跡博物館、南部女性博物館、女性博物館との交流	過去にちひろ展を開催した各館を再訪し、今後の展示協力などを話し合った。		8月29日～9月2日	ベトナム・戦争証跡博物館、南部女性博物館、女性博物館

事業	個別事業名	実施内容	参加者数 (入館者数)	実施時期	実施場所
	イギリス・セブンストーリーズの視察と交流	イギリスで、子どもの本の収集・展示・普及を行っているニューキャッスルのセブン・ストーリーズを訪問し、学芸員と相互の館の取り組みを話し合った。		2012年1月11日	イギリス・セブンストーリーズ
7.絵本等に関する支援活動	絵本専門家への支援活動	絵本の研究者、絵本作家等への研究・創作支援		10月11日～10月14日	安曇野ちひろ美術館、松川村
		絵本美術館に関する研究者、専門家等への研究支援		随時	両館
	展覧会鑑賞者・絵本受容者への支援活動	鑑賞者のより深い作品・作家理解のための解説、ガイドブックの作成、並びに画集・複製画の紹介、頒布		随時	両館
	地域の子育て支援団体との提携活動	地域の図書館等の社会教育施設、地元保健センター等の社会福祉施設と提携した絵本の紹介活動と読み聞かせ指導等		通年	両館

* 2011(平成23)年度事業報告書

3.絵本等に関する作品・資料の収集・保存、並びに調査研究

作品・資料収集

絵本原画、関連資料等の収集内訳

■いわさきちひろの原画作品の新規収蔵

作家名	作品	点数	収集形態
いわさきちひろ	雑誌「ミセス」1972年6月号「育児駆出しの記」カット	1	寄贈
合計		1	

■現代の絵本画家の作品の新規収蔵

作家名	作品	点数	収集形態
バーナデット・ワッツ	『おじいさんの小さな庭』『こびとのくつや』『ハネスうさぎはゆうびん屋さん』『お誕生日カレンダー』	5	寄贈
田島征三	「阿波踊り」	1	寄贈
出久根育	『マーシャの白い鳥』	17	購入
織茂響子	『イルミネこはまよなかに』	1	寄贈
蔡舉	『花仙人』のイメージ	1	寄贈
武田美穂	『ふしぎのおうちはドキドキなのだ』『となりのせきのますだくん』『ますだくんのランドセル』『きょうはすてきなおばけの日』『きょうはすてきなくらの日』『こわいドン』原画	202	寄贈
ユリー・シュルヴィッツ	グリーティングカード	1	寄贈
ピーター・シス	グリーティングカード	1	寄贈
合計		229	

■ 2012年3月31日現在のコレクション総数

いわさきちひろ		9,431	点
世界の絵本画家作品	32ヶ国 202人の画家	17,107	点
		26,538	点